

メールシステム

1. 概要

メールシステムは、2020 年度に引き続き Gmail (Google Workspace for Education) を既定のメールサービス¹として提供している。

クラウドサービスの障害対策として本学宛に届いたメールはリレーサーバを通じて全て双方 (Gmail, Exchange Online) のサービスに配信される。

スパム対策を含むメールセキュリティについても、それぞれのクラウド機能を用いているほか、メール内のリンクなどもファイアウォールのサンドボックス機能にて解析検知を行っている。

2. 利用状況

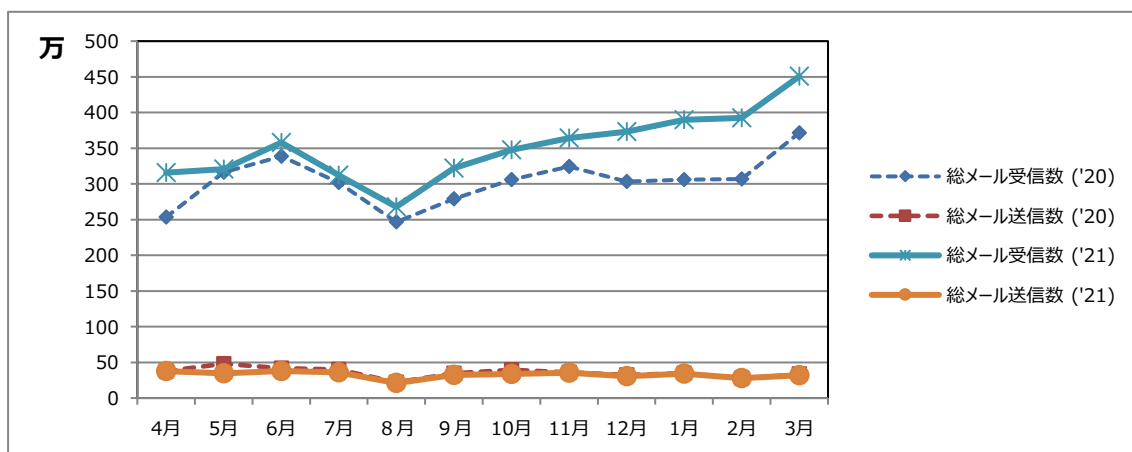


図 1 : 2021 年度年間メール送受信総数

¹ Microsoft 365 Apps For Education のメールサービスは準備中。提供時期は未定。

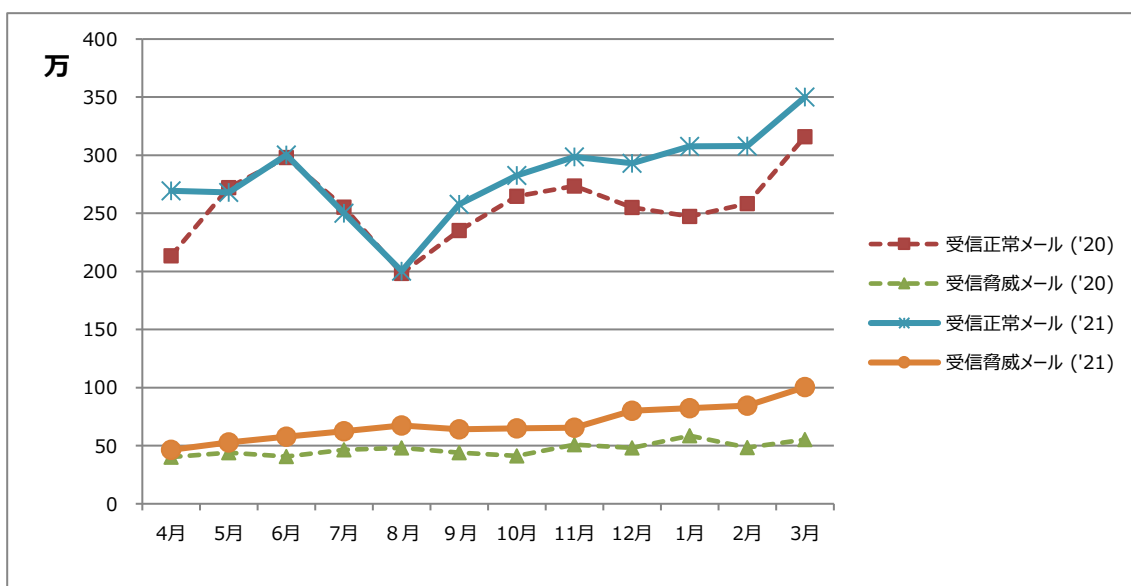


図 2 : 2021 年度年間受信内訳

3. 2021 年度のまとめ

Gmail の SPAM 対策機能により一部 False Negative としてユーザに届いてしまう不正なメールは存在するが、別途フィッシング対策などで対応している。

今後 Microsoft365 の Exchange Online 公開に向け Gmail 以上の SPAM、フィッシング対策を検討し、ユーザサービスとセキュリティ向上を図りたい。

受信脅威メールの検知件数も前年と比べ増加傾向となっている。2021 年 11 月頃から急増しているが、JPCERT/CC から何度も注意喚起が出されているように、マルウェア Emotet の影響と考えられる。